

「市長と語ろう！」子育て世代ミーティング 【概要】

平成29年11月11日（土）

13時30分～15時

子ども未来センター　くるりん子育てひろば

1 市長からの挨拶

（市長）

こんにちは。市長の清水庄平と申します。今年で3期目です。通算10年、市長をやらせていただいております。立川の大きな将来目標を「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」と決め、平成27年からの10年間、経営の指標として、「にぎわい、やすらぎ、交流」をキーワードとしていきたいということでスタートしました。

今まで立川は、北口駅前や南口駅前にデッキができたり、あるいはモノレールが真ん中を開通したり、どちらかというとハードな面でのまちづくりが目立ってきましたが、2020年あるいは2035年問題、これらをしっかりと捉える中で、子育てや教育、あるいは文化・芸術の充実等のソフトなまちづくりを主眼として目指していこうということでスタートしました。

その中でも、特に子育て、高齢者対策、これはもう絶対に避けては通れない非常に大きな重い課題であります。私としても、このような思いをしっかりと確認をしながら、行政を進めさせていただいているところでございます。

本日は、子ども未来センターが会場なので子育てに関する事だけというわけではありません。どんな疑問でも結構です。可能な限りの範囲でお答えをさせていただき、また、ご理解していただきたいと思います。

限られた時間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

2 意見交換

（参加者）

保育園のことで1つありまして、立川市で保育園の予約入園をやっていると思うのですが、枠がすごく少なくて、なかなか入れないという人もいますので、もう少し枠を広げていただきたいと思います。また、そういった予定があるのか伺います。

（保育課長）

現在、4月の段階で入りたいという方が非常に多い状況になっています。

西国立保育園の分園やたかのみち保育園の栄分園などで、入園の予約を少し広げてやっています。その様子を見ながら、市としても少しずつ広げていき、ご要望に応じていきたいと思っておりますが、待機児童のほうの枠ともあわせて調整していきたいです。よろしくお願いいたします。

（参加者）

園が2つしかなく、少ない気がします。近隣ではない人は申し込まないと思います。広範囲で少なくとも一、二年とかでやっていただいくのもいいのではないかと思います。少ないというのは、4月に入りたい人だけではなくて、多分通えないから少ないということもあると思うので、そういうことも考慮していただければと思います。

(保育課長)

全園でそういった枠が少しでもあれば、地域で選びながら安心できる場所があると思いますので、これからもそういったご要望に応えられるような保育サービスをしていきたいと思いますので、ご理解いただければと思います。

(参加者)

立川市の子育て支援の利用について、上の子が3歳児で、下の子が0歳児だと、2人一緒に遊ばせられるのは、午前中だけといった制限があることがあります。毎日とは言わないので、特定の曜日だけでもいいので、上の子と下の子が一緒に遊べる時間ができればいいと思います。公園では遊べると思うのですが、夏は蚊がいたり、暑かったり、冬は寒すぎたり、妊娠中からすごく大変で困っていました。児童館があると言われますが、児童館だと、午後2時～3時ぐらいから大きいお兄ちゃんお姉ちゃんが帰ってきてしまい、いられないなという感じにもなってしまうので、その辺考慮していただけたらと思います。

国分寺に「ぶんちっち」という午後5時まで遊べる施設へ、自転車に通っているのですが、そういう施設を立川でもつくっていただければいいなと思います。市内に1箇所だけでも長い時間遊べる場所があったらいいなと思います。

(子ども家庭部長)

ご意見をいただきましてありがとうございます。

子育て広場につきましては、まずは皆さんが行きやすい場所につくるということを優先して、数を増やしてまいりました。その中で、やはり小さいお子さんと結構走り回りたいうお子さんが同じ時間帯に同じフロアにいと、事故も起こりやすいので、今のところ年齢で分けさせていただいている広場がほとんどかと思ひます。ただ、ご意見のようなことも十分考へておりますので、今後、現場のほうの意見を調整しながらお応えができるようになっていけたらいいなと考へております。

(参加者)

日本語がほとんどできない外国人の方が、子育て広場で一緒になる機会がありますが、申込用紙等が全て日本語になっているので、多分1人で来たときに不便を感じるかと思ひます。英語や中国語などの案内ができるものがあつたらいいと思ひます。企画も日本語ばかりなので、何の企画をしているか意味もわからないし、参加もできないので、できればそういう文章も、外国人対応のものがあれば、より参加されやすいかと思ひます。

(子ども家庭部長)

申込用紙等は、英語版をつくって置いてあり、便利帳も外国語版にしたものを用意させていただいていますが、日々の企画まではなかなか翻訳することができなくて申し訳ないと思ひます。

ただ、どんな方でもわかりやすいようにルビを振る等の工夫はしていけると思ひますので、ご意見としていただいて、また工夫させていただきたいと思ひます。

(参加者)

今、立川市の中で具体的に何名ほど待機児童がいるか、市として把握されているのかどうか、教えてください。

(保育課長)

4月の時点で待機児童数は144人として、国のほうに報告をしています。

(参加者)

144人の待機児童を解消するためには、保育園が幾つぐらい必要ですか。

(保育課長)

144人の待機児童の方が保育園にそのまま入っていただくには、その144人の定員を増やさなければいけない状況になっています。

平成30年の4月に認可保育園の定員枠が330人分増えます。今回、その144人の方、主にゼロから2歳の方がほぼ待機児童になっていますが、この330人の枠が増える中で、144人という数については、数字上はクリアできる見込みです。ただ、どうしても皆さんのご希望が重なる地域については、若干お待ちいただくケースは出てきます。数字的には来年、30年の4月には待機児童の数としてはほぼ解消される見込みで、保育園の建設を進めているところでございます。

(参加者)

私が住んでいる錦町は結構道が狭いところが多いです。すぐには対応できないとは思いますが、そういう道路の整備をもう少しやっていただきたいと思います。

もう1点、子育ての件ですが、子供用品を扱うお店が私の近所に少ないと思いました。ららぽーとがありますが、電車に乗らなければいけない。働いていると、八王子のほうか駅前にお店があり利用しやすい環境です。駅型のお店に子供向けの店舗がほとんどなく、困っていると周りのママ友とも話しているので、そういった対策も、立川が発展していく上で、視野に入れていただければと思います。

(市長)

錦町は、確かに道路が狭いです。50年かけて行われてきた立川駅南口の区画整理が、一昨年終わったばかりです。50年前の設計に基づく区画整理ですから、駅前のところでも道路が狭すぎるという声があります。50年かけて整理してきて、ようやく終わったばかりのところを、またどういう形で整備できるかという、なかなか難しいものがあります。

一方通行をもう少し増やす等、別のアイデアも出てきていますので、いろんなアイデアを勉強しながら、これから大きな課題として捉えています。

子供用品を扱うお店については、今まで、全く利便性を考えなかったわけではないのですが、待機児童を解消することを優先課題として取り組んできました。来年の春にはほぼ解消できるだろうと思いますのでご理解願います。

(参加者)

保育園民営化の件です。上の子は公立の保育園を利用していました。下の子は、ゼロ歳から公立に入園できず、認証の保育園に入り、1歳児になって公立の保育園に入所が決まりましたが、途中で民営化になりました。その後転園が決まり、現在、立川市が運営している公立保育園に転園が決まって、現在、そちらに入っております。

幾つかの種類の保育園を経験して思ったことが、保育の質の部分です。民営化されて、正直、お母様方と話をしていて、いい面がないねというのが一致した意見でした。先生の絶対数が少なく、子どもとかかわる先生の質に不安を感じることがあります。

また、医療費負担について、23区のように無料にできたら非常にありがたいと思いました。

(市長)

私が知る限りでは、民営化された保育園でも、保育に対して特段問題はないといった話を聞いておりますが、公立から民営の移行時の混乱で、対応がうまくいかなかったことがあったかもしれません。

医療費の無料化の件ですが、今のところ医療費を無料化にするだけの余裕が、市としてはありませんのでご理解ください。

(子ども家庭部長)

保育園の民営化については、運用主体が変わる引き継ぎの時期では、多くの職員による対応から単体の保育に代わり、混乱が生じたり、慣れない保育士が入り十分に対応できないということがあったと思っています。

公立保育園も私立保育園も基準としている人員の配置は同じです。その中でどのように子供たちを安全に保育するか、それぞれの保育園のやり方としていろいろあるかと思えます。しかし、実際に不十分な対応があったということであれば、認可保育園としてきちんと保育しているか、もう一度点検していきたいと思えます。

医療費の無料化については、所得制限を設けており、所得が低い方にはある一定の補助をさせていただいている状況であります。

(参加者)

1 点目が、保育園や学童に入るときの点数制についてです。実家が県外のため、親の手助けを借りずに、夫婦2人で子育てをしています。そのため短時間勤務で働いていますが、フルタイムで働く方と点数の差が出てしまっています。フルタイムで働いている方の中には、保育園に祖父母の方がお迎えに来ていらっしゃる方々が結構いて、そういうサポートがある方はフルタイムで働くことが可能で、点数も良く優先的に入れるようです。しかし、サポートを受けられなく、仕方なく短時間で働いている人の優先順位が下がってしまうところが気になります。点数をつけるときに、親のサポートが全く受けられないから仕方なく短時間勤務になってしまうということも、考慮して判定していただきたいと思いました。

また、親が遠距離かどうかは、点数の同じところで最後に競り合ったときに考慮されるということを説明で聞きましたが、それだと手遅れで、順位のところでは差がついて落ちてしまうという心配があるので、考慮していただけたらいいなと思いました。

2 点目は、空いている商店街等を活用して、放課後の時間や下校後の時間に、子供たちが安心して世代間交流ができるような場があったらいいなと思いました。実家が遠いので、おじいちゃんおばあちゃんたちと、なかなか話す機会がありませんので、そういう場があればお互いにいいのではないかと思います。

(保育課長)

保育園等に入るときの点数、指数という部分でのご意見をいただきましたが、確かにいろいろなケースがあり、全ての方が簡単に点数で評価できるという部分ではないということとは存じております。ただ、どうしても入園の際に、優先度を計らなければいけないところがあります。勤務時間という点では、長く働いている方については、どうしてもお子さ

んと一緒にいられる時間が当然少ないので、保育が必要になるという考え方で、そのような指数のつけ方を行っているところです。ご両親の方が近くにいる・いないについては、通常、指数化する段階では、特に考慮に入れていません。同点で並んだ場合にご両親のサポートがある場合は、ない方のほうを優先するよう考慮させていただきますが、通常の判定の中では、勤務時間と勤務地などで判断させていただいています。いろいろなご意見が届いておりますので、指数については常に見直しを図っていきます。今日のご意見についてもいろいろ考慮しながら、今後にまた生かしていきたいと思います。

(子ども家庭部長)

世代間交流というお話について、立川市内の全小学校で、放課後子ども教室という、地域の方々が放課後の子どもと安心、安全に遊べる場所を確保していただいています。学校によって、ほぼ毎日、平日の放課後に実施しているところや、毎週何曜日というように、実施日を決めているところもあります。そこでは、地域の大人の方、PTAの方、お年寄りの方、シルバー人材センターの方等にお手伝いをしていただき、多世代の交流をしながら、年配の方にいろんな遊びを教えてもらっているような事業もありますので、ぜひ地域や小学校から情報をいただけるといいかなと思います。

(参加者)

多世代交流の場は、園庭で行うものですか、それとも体育館等の中の施設で遊べるものですか。参加してみたいと思うのですが、子どもがまだ幼いので、体育館などで実施していれば、参加してみたいと思います。

(子ども家庭部長)

多世代間交流、放課後子ども教室をやっているところですが、天気の悪いときは体育館で実施したり、幾つかの教室お借りしている場合があります。内容も、ものづくりを行う地域や、グラウンドで遊ぶことを中心に行うところもあります。保育園に通うようなお子さんの場合には、公立・私立ともに、近くの保育園で、地域の方に対して園庭解放しているところも多くあります。また、保育園によっては地域の高齢者の方と交流をしながら小さいお子さんを遊ばせてくれるところもありますので、ぜひ地域の保育園の情報もとってみられるといいかと思います。

(参加者)

立川駅の南口は飲み屋さんが多く、夕方から夜にかけて治安があまりよろしくないと思います。子どもを塾とかに一人で通わせる場合は心配です。もう少し、長期的でいいのですが、夕方頃からの南口の治安が良くなるといいかなと思いました。

また、子供が生まれてから、なかなか外に出るのが難しくなり、運動する機会が減りました。子供の預け先がなく、1人で出られないことが多いので、もし可能であれば、市がどこかに委託して、子供と一緒にできるような運動のプログラムとか講座みたいなものを定期的にやっていただける場を提供していただけると、リフレッシュにもなってうれしいと思います。

ここ数年、駅の近くでたばこを吸う方がほとんどいなくなり、駅前には動きやすくなり、感謝しています。かなり改善されたとは思いますが、駅から離れた人目につかないようなところでは、くわえたばこや歩きたばこをしている方がいて、ベビーカーに乗せて歩いて

いると、ひやっとしたり、煙をもろに受けてしまうことがあります。すぐに改善は難しいかもしれませんが、もう少し改善していくとよりよくなると思います。

(市長)

立川駅南口の件ですが、男性でも、夜遅くに1人で歩くのが怖いようなところがあると伺っております。北口と異なり、南口は、商店街全体としていろんな飲食店で飲んだり食べたりする、食のまちにしていこうといったコンセプトがあります。治安対策として、商店街と一緒にパトロールをしたり、街路灯の電球をLEDに変えて明るくするといった対策を行っています。

たばこの件ですが、立川市内全域、公共の場所での歩きたばこは禁止となっております。さらに、駅から半径250メートルは全て禁止としており、規制を徹底するために、朝から晩までパトロールを実施しています。

さらに、外国から大勢のお客さんがファール立川に訪れておりますが、ファール立川地域は半径250メートルから外れておりますので、対策を図っております。いずれにしても、駅から250メートルの範囲の中では、何とか合格点がもらえるぐらいになってきたかなと思います。今後も地道にやっていきます。

(子ども家庭部長)

子どもの預け先ということで、一時預かり保育ということで、登録制でお預かりする事業を行っております。そういった一時預かりの施設が認可保育園など、市内にごございますので、一時的な活用としてご利用いただきたいと思います。

子どもと一緒に運動できる講座等については、市が主催している、定期的な親子で行う運動教室といったものは、あまりないかと思いますが、民間事業者が体育館でいろいろなプログラムを展開しているので、そういった情報を活用していただければと思います。

(参加者)

健康会館で、毎月1回体重測定等をしていただいておりますが、そこで相談もできるのでありがたいと思うので、できれば、この近辺でもやっていただけるといいです。

(市長)

その件は、担当部長にお伝えしておきます。

(参加者)

中学校の学校給食のことですが、この先、給食にかわっていくような検討がされていると市の広報か何かで読んだのですが、子供の成長の大事なときに、しっかりとした栄養をバランスよくとれるのは給食が一番だと思うので、ぜひお願いしたいです。

学童保育の昼食についてですが、夏休みは毎日家からお弁当を持参していくことになるかと思いますが、親の負担が大きく、少しでも楽になる方法を検討していただきたく、注文したらお弁当をとれるようなことができるといいと思います。

(市長)

中学校給食については、既に決定したことで、現在、施設を建設するための土地を探しています。市が全中学校に配達しますので、利便性の観点からいい場所を探して、折衝中であります。

(子ども家庭部長)

学童保育でのお弁当の注文については、そこまで対応できる人員配置が難しいところですよ。アレルギーのお子さんが大変多くなっており、そこでの間違いがあったらいけませんので、おやつまでが限界かなというところです。

(参加者)

生活保護について、生活保護のご家庭が少なくなって、そこでの経費を保育や医療へ分配できると思いますが、生活保護は26市の中で2番目に立川は多いということですが、なぜ立川市が2番目に多くなっているのでしょうか。また、比率としても他市と比べて大きいのでしょうか。

(市長)

他市に比べて安い公営住宅が立川は非常に多いということが考えられます。また、拘置所が近くにあり、拘置所を出られた方が、弁護士さんと一緒にそのまま立川市役所のカウンターに来て、生活保護を受けるといったケースもあります。1番目に多い自治体は清瀬市ですが、いわゆる療養所関係の人が多いらしく、長期入院して、そのまま自動的に生活保護の対象になってしまうことがあるようです。

また、立川市は比率としても多いです。

(参加者)

お下がりでいただいた洋服がたくさんあり、捨ててしまうのがもったいないと感じています。ごみの軽減にもなり、何か役立ててもらおうとうれしいので、欲しい人に無料で差し上げられるような取り組みがあったらいいなと思いました。

(市長)

そういうことこそ、市民が立ち上がってNPOでもボランティアでも何でもいいですから、やってもらえるとありがたいです。

(参加者)

立川市で子どもを産むと、こんなメリットありますよとか、ほかの市に比べて、こんなこと頑張っていますよといったアピールできることがあれば教えてください。

(市長)

第一小学校が建替えによりリニューアルしました。教室の区分けがなく、フレキシブルに教室を分けたり、外の光を目いっぱい教室の中まで取り込んだり、とても斬新な設計になっています。そのおかげか、第一小学校がある柴崎町では、小学生を持つご家庭の人口が増えました。さらに、柴崎町では、学童保育所の待機児童はいなかったのですが、第一小学校がリニューアルしてから、第一小学校区の学童保育所の希望者が増え、待機児童が生まれてしまいました。いい学校ができれば、その学校の周辺に集まって子供を教育したいといった方が大勢来てしまいます。私も行政側が読めない流れがあるようで、なかなか子育て環境の目玉商品を選ぶのが大変です。

それから、小児の夜間救急診療を行っています。当初は、立川市だけで進めるのは、維持費等で大変なので、行政区域が接している近隣市と共同でやることになりました。しかし、近隣の自治体が辞退して残ったのは立川市だけとなりました。しかし開設したら、辞

退した自治体の子どもたちも多く受診されているそうです。病院としてはお断りするわけにはいきませんので、立川市が投入している税金の中で、他市の子供たちの病気を治したりしている状況であります。

ただ、小児の夜間救急は、お金がかかるものですから、やっているところが少ないので、アピールになるかと思います

(参加者)

第三小学校のリニューアル予定はありますか。

(総合政策部長)

建替えはかなりの経費がかかりますので少し先になりますが、安全や安心の面を踏まえて、中規模改修という、いわゆる老朽化対策としての改修は行う予定です。基本的に、構造は変えないで、例えば雨漏りを直すとか、あるいは壁やトイレをきれいにするとか、空調をもう1回整備するとか、そういう内容になります。

(参加者)

お願いですが、健康会館で1歳半健診とか3歳健診を行っていただく際に、健診の時間が午後1時から3時ぐらいで、ちょうど子供のお昼寝の時間にぶつかっていて、不機嫌なことが多いです。午前中なら、機嫌がいいまま終わらせて、そのまま保育園に行くこともできます。または、午後の3時以降など、なるべくお昼寝の時間とかぶらないようにしていただけるとありがたいと思います。

(子ども家庭部長)

1歳半健診とか3歳健診に来ていただいている先生たちは、市内の医療機関の先生たちです。午前中または午後3時以降は、先生たちの診療所の診察があるので、その時間に健診を設定させていただいている状況になります。皆さん、機嫌が悪いのは承知の上で、そういう同じ条件で健診をさせていただいているので、特別ないい場面をつくる必要はなく、それも考慮しながら健診されていますので、ご安心ください。

(参加者)

最近、子供が歩けるようになったので、公園に行きます。きれいな公園が多いですが、オニ公園だけは汚くて、どうにかありませんか。

(市長)

オニ公園の鬼の像は、地元の人がつくってくれましたが、とてもいいアイデアで、人気があり、人が集まる場所です。何か寝ている人もいたりとか、いろいろ噂も聞いております。決してきれいな公園とは言えませんが、清潔に保つための何かアイデアがあるかどうか、検討させてください。

(参加者)

こういった市長さんとの話し合いも、平日働いている自分として、平日ではなく土日を利用して開催していただき非常にありがたく思っております。

立川のデパートにおける問題ですが、子供関連の売場が上の階にあるので、エレベーターやエスカレーターを利用しますが、子育てする人たちが買い物しやすく、利用しやすい

ようにしてほしいです。

また、駅の商業施設を利用する際、子供を預けて買い物ができるような施設があればいいとおもいます。

子育て広場等の利用は立川市の市民ですが、お金をかけてもいいので、他の市民も受け入れていただけるとありがたいです。

（市長）

デパートの件ですが、市内デパートの店長さんにお会いする機会がありますので、お伝えしておきます。

（子ども家庭部長）

土日開設しているのは、立川市内ではくるりん子育て広場だけです。市内の方でも事前に予約して利用する状況になっていますので、市外の方まで広げるのは厳しいと思います。また、需要が高いので、他の施設に広げていけたらと思っています。立川市民だけではいっぱいにならないというようなことがあれば、市外の方にも広げるということも考えられますが、当面は難しいかと思っています。

（参加者）

夫の出張も多く、1人で子供を世話することが多いので、以前、夏に、児童相談所の方が来られて、半年ぐらい前から子供の泣き声がすると言われました。我が家のことだと思い、不安でいることを相談しました。虐待を疑われて訪問されたのかもしれませんが、結局は児童相談所の方も「お母さんの顔を見て安心しました。気にしないでください」と言っていました。外に行けば、うるさいから連れてくるなと言われ、家にいればうるさいから泣かすなと言われ、何か生きにくいなと思っていましたが、児童相談所の方が、そうやって1軒ずつ回ってくれて、虐待があったときに見つけられるのはすごくいいことだと思いました。

3 閉会の挨拶

（市長）

どうも皆さん、ありがとうございました。

私は、小学校1年生が一番上で、一番下が生まれて4カ月、5人の孫がおります。よく子供は社会の宝と言いますが、社会全体でしっかりと育てていかなければならないなど常々感じておりまして、このような子供の声が聞こえる中で、1時間半を過ごさせていただいて、ほんとうに幸せな気分です。帰ったら、また孫の顔を見て、ほめてやりたいなと思っています。

いろんなことで皆さんお悩みがあらうかと思っています。役所の職員、みんな、顔が少々怖い者がおりますけれども、心根はやさしい者ばかりですから、ぜひ遠慮しないでご相談いただき、やさしい子育てに邁進していただければありがたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。